



## 2021年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月3日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社  
 コード番号 7989 URL <http://www.blind.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 立川 光威  
 (氏名) 小野 寿也  
 TEL 03-5484-6142  
 配当支払開始予定日 2021年9月6日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	20,276	0.1	2,396	5.3	2,455	4.2	1,579	1.5
2020年12月期第2四半期	20,256	1.7	2,530	12.1	2,562	11.4	1,604	11.1

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 1,901百万円 (35.5%) 2020年12月期第2四半期 1,403百万円 (6.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	81.18	
2020年12月期第2四半期	82.45	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	58,428	45,941	70.9
2020年12月期	57,779	44,432	69.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 41,427百万円 2020年12月期 39,963百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		10.00		19.00	29.00
2021年12月期		10.00			
2021年12月期(予想)				20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,040	5.2	4,800	5.8	4,850	5.1	3,050	5.2	156.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	20,763,600 株	2020年12月期	20,763,600 株
期末自己株式数	2021年12月期2Q	1,306,543 株	2020年12月期	1,306,325 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	19,457,158 株	2020年12月期2Q	19,457,683 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による一部地域への緊急事態宣言の再発出や、まん延防止等重点措置の適用等により社会経済活動が制限される中、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ関連の建設・住宅業界は、短期的にはコロナ禍での住宅着工戸数減少の反動により持ち直しの動きが見られるも、ウッドショックによる資材不足や価格高騰等、先行きが不透明な状況であり、また長期的には世帯数の減少や住宅の長寿命化等により新設住宅着工戸数が年々減少傾向にある等、厳しい環境となっております。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、生活様式や働き方が大きく変化する中、多様化するニーズに応じた、より安心・安全で快適な住空間づくりを目指し、顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、6月には当社主力製品のひとつであるロールスクリーン『ラルクシールド』や、タテ型ブラインド『ラインドレープ』の大幅なリニューアルを行い、心地よい快適な暮らしを提案してまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、くし歯式の強みを活かした営業展開により新規開拓に取り組みるとともに、既設物件に対する計画的な改修提案や付加価値提案を推進し、製造・施工コストの管理体制強化を進めることにより、受注・収益の獲得に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、顧客ニーズに応えた個別製品の開発による提案営業を進め、新規顧客獲得に注力するとともに、生産体制の改善等による収益獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は 20,276百万円（前年同期比 0.1%増）、営業利益は 2,396百万円（前年同期比 5.3%減）、経常利益は 2,455百万円（前年同期比 4.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 1,579百万円（前年同期比 1.5%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## [室内外装品関連事業]

主力製品のひとつであるロールスクリーン『ラルクシールド』や、住宅向けタテ型ブラインド『ラインドレープ』において、ライフスタイルで選べる多彩なデザイン生地のリニューアルを刷新する等、大幅なリニューアルを行いました。また、『ラルクシールド』では、窓の大開口化にあたり、製作可能寸法を拡大する等の充実を図り、『ラインドレープ』では、プライバシーを守りながら眺望を楽しめる「ペア アンサンブル」をリニューアルする等、多様化するニーズに対応しました。更に、オフィスや店舗などの大きな窓にも対応する非住宅向けタテ型ブラインド『パーチカルブラインド』ではスラットラインナップをリニューアルし、遮熱・制菌・抗ウイルス加工スラットや水拭きできるスラットを拡充させ、機能性やメンテナンス性の向上を図りました。またワクチン接種会場などにも設置可能な衝立式の間仕切『アコーデオンスクリーン』においては対応レザーと製品サイズの拡充を図りました。

加えて、スマートスピーカーやスマートフォンでの操作も可能にした住宅向け電動製品『スマートインテリアシェード ホームタコス』や、スリムでスタイリッシュなデザインと機能性が人気の間仕切『プレイス スウィング』など、昨年発売した付加価値の高い製品の市場浸透に注力しました。

以上の結果、売上高は 17,248百万円（前年同期比 0.8%増）となり、営業利益につきましては、継続的なコスト低減活動等に努めましたが、販売費及び一般管理費が増加し、2,188百万円（前年同期比 6.3%減）となりました。

## [駐車場装置関連事業]

昨年度の大型物件の反動に加え、新築工事の一部下期への工事日程変更などもあり、売上高は 1,321百万円（前年同期比 9.2%減）となりました。営業利益につきましては、製造・施工コストの管理体制強化など継続的な原価低減活動に努めましたが、売上高の減少等により 80百万円（前年同期比 4.3%減）となりました。

## [減速機関連事業]

工作機械の受注回復の兆しが見えるなか、無人搬送台車駆動用減速機など、当社得意の個別製品の受注が堅調に推移したことにより、売上高は 1,707百万円（前年同期比 0.9%増）となりました。営業利益につきましては、売上高の増加や高付加価値の製品構成増加等により 127百万円（前年同期比 15.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は58,428百万円で、前連結会計年度末と比較し649百万円の増加となりました。

## (資産)

流動資産は39,301百万円で、前連結会計年度末と比較し33百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少した一方で、棚卸資産が増加したことによるものであります。

固定資産は19,127百万円で、前連結会計年度末と比較し616百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産の取得による増加や、株価上昇により投資有価証券が増加したことによるものであります。

## (負債)

負債は12,487百万円で、前連結会計年度末と比較し859百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が増加した一方で、退職給付に係る負債が減少したことによるものであります。

## (純資産)

純資産は45,941百万円で、前連結会計年度末と比較し1,508百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加したことや、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は70.9%と、前連結会計年度末と比較し、1.7ポイントの増加となりました。

## [キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ166百万円減少し、18,290百万円となりました。

## [営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動による資金は、844百万円の増加(前年同期は1,843百万円の増加)となりました。

これは税金等調整前四半期純利益2,452百万円に対し、減価償却費396百万円、売上債権の減少額258百万円等による増加があった一方で、退職給付信託設定による支出1,000百万円、法人税等の支払額811百万円、未払金の減少額389百万円等による減少があったことによるものであります。

## [投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金は、603百万円の減少(前年同期は283百万円の減少)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出449百万円、無形固定資産の取得による支出68百万円によるものであります。

## [財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金は、424百万円の減少(前年同期は407百万円の減少)となりました。

これは主に、リース債務の返済による支出33百万円、配当金の支払い390百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束の目処は立たず、一方でワクチン接種の進行や各種政策の効果により景気は次第に回復に向かうことが期待されますが、国内外の経済環境は先行き不透明な状況が続くと思われまます。

このような環境の下、室内外装品関連事業におきましては、生活様式や働き方が大きく変化している中、多様化するニーズに応じた製品の開発や、環境の変化に応じた営業活動を展開し、製品の提供に取り組むとともに、リフォーム需要や海外市場の獲得強化、非住宅市場での拡販に取り組み、さらなる売上拡大・収益確保に努めてまいります。駐車場装置関連事業では、業界トップレベルの入出庫スピードや省エネ性、耐震性を誇る当社の「くし歯技術」を活かした付加価値開発を行い、積極的な提案活動を展開するとともに、既設物件に対する改造改修提案を推進し顧客満足度の向上に努めてまいります。減速機関連事業では、当社の保有技術を活かした製品の差別化戦略により物流・工場自動化設備等の成長分野においてシェア拡大を図ってまいります。

これらを踏まえ、2021年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において2021年2月5日に公表しました予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,517,552	18,441,167
受取手形及び売掛金	14,516,220	14,270,019
商品及び製品	814,573	681,305
仕掛品	1,432,716	1,488,674
未成工事支出金	134,226	227,281
原材料及び貯蔵品	3,582,843	3,738,843
その他	313,884	499,570
貸倒引当金	△43,589	△45,368
流動資産合計	39,268,428	39,301,492
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,493,131	14,315,450
減価償却累計額	△9,667,593	△9,788,096
建物及び構築物(純額)	3,825,537	4,527,353
土地	7,444,602	7,482,531
その他	16,125,123	15,978,436
減価償却累計額	△13,955,445	△14,112,665
その他(純額)	2,169,677	1,865,771
有形固定資産合計	13,439,817	13,875,656
無形固定資産	491,377	507,486
投資その他の資産		
投資有価証券	1,951,354	2,254,699
退職給付に係る資産	358,044	358,167
その他	2,386,784	2,248,259
貸倒引当金	△116,553	△117,145
投資その他の資産合計	4,579,629	4,743,980
固定資産合計	18,510,824	19,127,123
資産合計	57,779,253	58,428,616

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,941,753	6,327,297
未払金	1,240,168	912,828
未払法人税等	854,533	800,305
賞与引当金	215,843	217,449
役員賞与引当金	61,050	32,132
製品保証引当金	14,094	20,262
その他	1,534,548	1,660,356
流動負債合計	9,861,992	9,970,631
固定負債		
役員退職慰労引当金	359,525	354,127
退職給付に係る負債	2,984,324	2,031,043
その他	141,116	131,650
固定負債合計	3,484,965	2,516,820
負債合計	13,346,958	12,487,452
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,060	4,395,060
利益剰余金	31,701,118	32,910,878
自己株式	△671,776	△672,076
株主資本合計	39,899,402	41,108,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	161,566	368,231
繰延ヘッジ損益	△1,262	2,841
為替換算調整勘定	28,014	44,204
退職給付に係る調整累計額	△123,998	△96,320
その他の包括利益累計額合計	64,320	318,956
非支配株主持分	4,468,571	4,513,344
純資産合計	44,432,295	45,941,163
負債純資産合計	57,779,253	58,428,616

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	20,256,860	20,276,835
売上原価	11,324,431	11,246,416
売上総利益	8,932,428	9,030,418
販売費及び一般管理費	6,402,012	6,633,770
営業利益	2,530,415	2,396,647
営業外収益		
受取利息	438	545
受取配当金	38,764	39,635
不動産賃貸料	17,951	17,833
受取保険金	23,780	668
為替差益	-	17,521
その他	21,172	32,760
営業外収益合計	102,106	108,965
営業外費用		
支払利息	2	2
売上割引	41,508	43,525
為替差損	7,070	-
災害による損失	9,306	-
その他	12,381	6,544
営業外費用合計	70,269	50,072
経常利益	2,562,252	2,455,540
特別利益		
固定資産除売却益	999	252
特別利益合計	999	252
特別損失		
固定資産除売却損	5,389	3,517
投資有価証券評価損	119,073	-
特別損失合計	124,463	3,517
税金等調整前四半期純利益	2,438,789	2,452,274
法人税、住民税及び事業税	625,001	751,124
法人税等調整額	186,513	58,994
法人税等合計	811,514	810,118
四半期純利益	1,627,274	1,642,155
非支配株主に帰属する四半期純利益	22,962	62,707
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,604,311	1,579,448



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	1,627,274	1,642,155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△256,298	210,337
繰延ヘッジ損益	2,159	4,103
為替換算調整勘定	△5,167	16,190
退職給付に係る調整額	35,539	28,647
その他の包括利益合計	△223,767	259,278
四半期包括利益	1,403,507	1,901,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,362,632	1,834,084
非支配株主に係る四半期包括利益	40,874	67,349

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,438,789	2,452,274
減価償却費	381,871	396,073
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,953	1,605
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△35,680	△28,918
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△34,506	△5,462
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	56,844	93,318
退職給付信託設定額	-	△1,000,000
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△48,655	△5,398
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△9,042	6,167
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,097	△1,602
固定資産除売却損益(△は益)	4,389	1,030
投資有価証券評価損益(△は益)	119,073	-
受取利息及び受取配当金	△39,202	△40,180
支払利息	2	2
為替差損益(△は益)	5,106	△14,933
売上債権の増減額(△は増加)	1,285,036	258,481
たな卸資産の増減額(△は増加)	△208,745	△161,682
仕入債務の増減額(△は減少)	△576,672	53,560
未払金の増減額(△は減少)	△368,347	△389,641
その他	△113,164	1,147
小計	2,852,046	1,615,842
利息及び配当金の受取額	38,881	39,882
利息の支払額	△21	△7
法人税等の支払額	△1,047,800	△811,039
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,843,106	844,678
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△268,947	△449,248
有形固定資産の売却による収入	1,000	445
無形固定資産の取得による支出	△16,048	△68,807
投資有価証券の取得による支出	△298	△297
投資その他の資産の増減額(△は増加)	1,209	4,422
定期預金の純増減額(△は増加)	△0	△90,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△283,086	△603,485
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△32,747	△33,795
配当金の支払額	△352,259	△367,999
非支配株主への配当金の支払額	△22,444	△22,657
その他	△102	△365
財務活動によるキャッシュ・フロー	△407,554	△424,817
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,913	17,238
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,147,552	△166,385
現金及び現金同等物の期首残高	15,065,278	18,456,990
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,212,831	18,290,604

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(退職給付信託の設定)

当社は、第1四半期連結会計期間において、将来の退職給付に備えることを目的として、退職給付信託を設定し、現金及び預金10億円を拠出いたしました。これにより、退職給付に係る負債が同額減少しております。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	17,109,914	1,455,234	1,691,711	20,256,860	—	20,256,860
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	23,437	23,437	△23,437	—
計	17,109,914	1,455,234	1,715,148	20,280,297	△23,437	20,256,860
セグメント利益	2,335,853	84,034	110,527	2,530,415	—	2,530,415

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	17,248,490	1,321,204	1,707,139	20,276,835	—	20,276,835
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	54,727	54,727	△54,727	—
計	17,248,490	1,321,204	1,761,867	20,331,562	△54,727	20,276,835
セグメント利益	2,188,626	80,399	127,622	2,396,647	—	2,396,647

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。